

横浜銀行ファンドラップ 運用状況のご報告

2025年8月



りそな銀行

横浜銀行ファンドラップとは

運用には、悩みや不安がつきもの

世界経済は大きく変動していて、
自分では調べきれない…

運用状況を管理している
時間がない…

資産の管理を
任せたい…

何に投資すればいいのか
わからない…

資産運用はしたいけど、
あまりリスクはとりたくない…

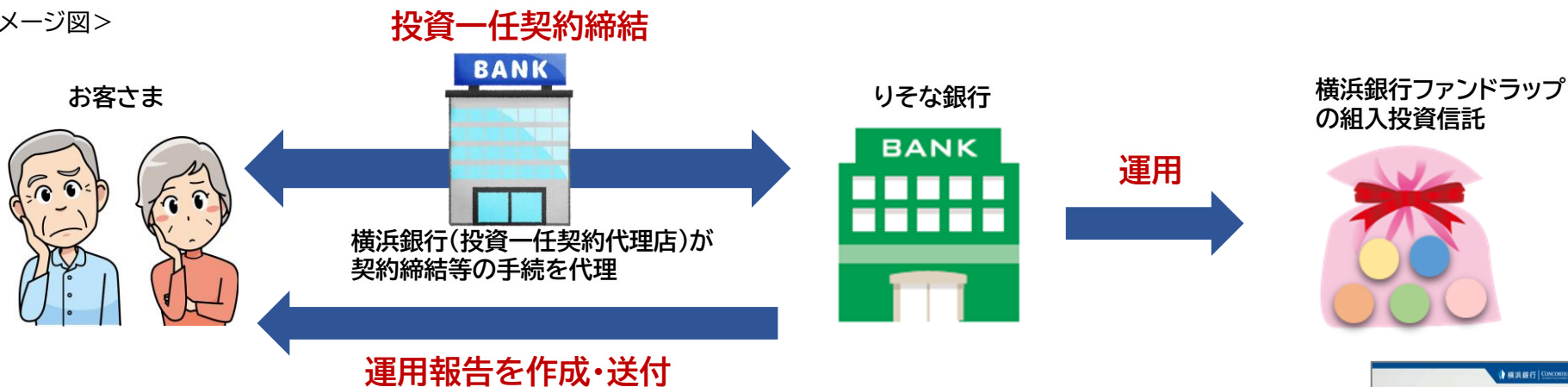


横浜銀行がお客さまにふさわしい
資産形成・運用のお手伝いをいたします



投資一任契約の仕組み

<イメージ図>



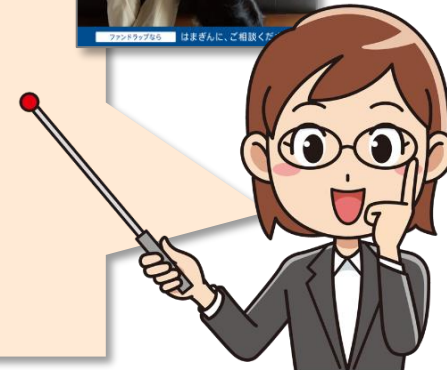
資産運用に対する悩みや想いは、お客さまお一人おひとり異なります。

横浜銀行ファンドラップでは、お客さまごとに異なる投資の目的や方針を確認します。

そのうえで投資一任契約に基づき、りそな銀行がお客さまに代わって

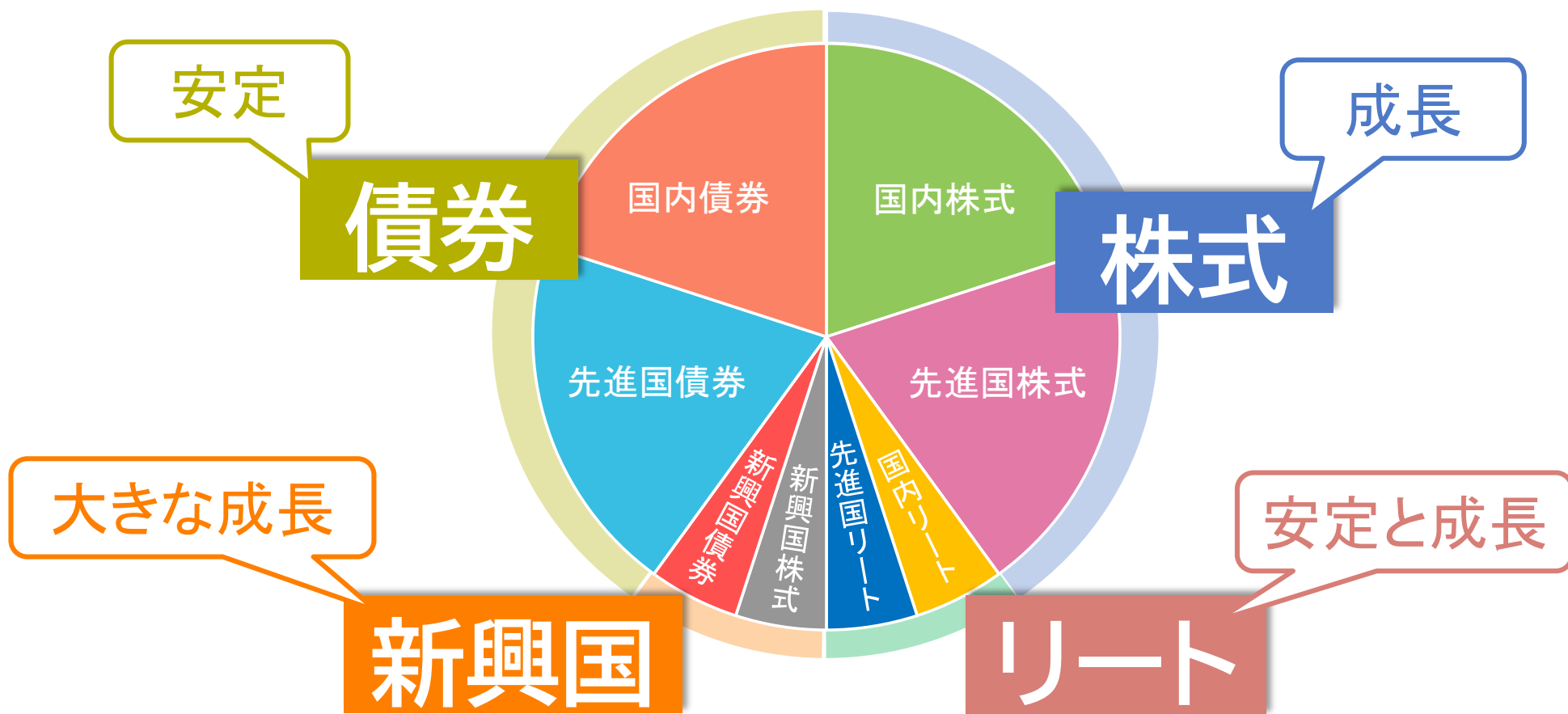
- ① 最適な資産配分や投資先ファンドの選定
- ② 定期的な資産配分比率の見直し
- ③ 運用状況の報告

などの資産運用に関わるサービスを総合的にご提供いたします。



国際分散投資は、「世界経済の成長を取り込む」効果が期待できる

横浜銀行ファンドラップ 国際分散投資



※上記は、資産配分比率や各資産の値動きをイメージしたものであり、実際のものとは異なります。

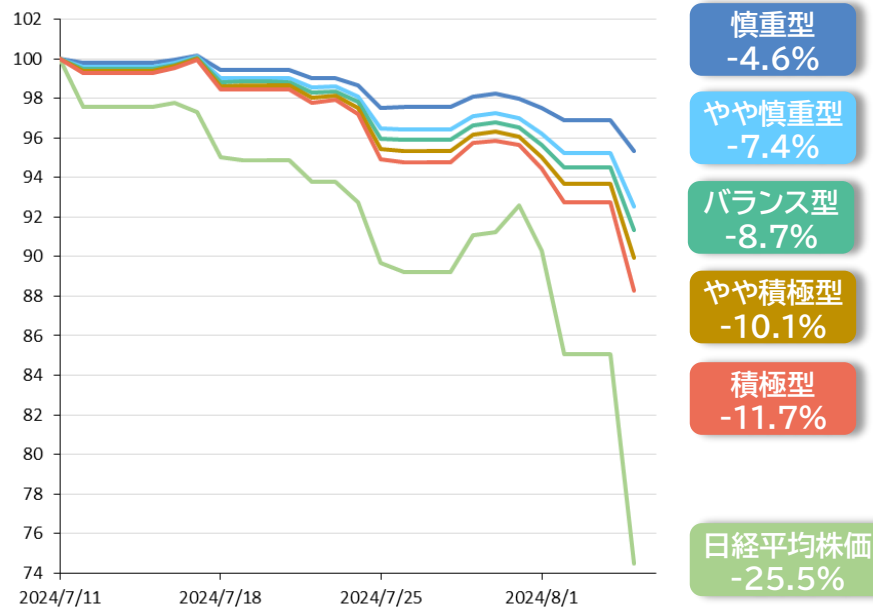
本資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

株価下落局面において、横浜銀行ファンドラップは分散投資によるリスク抑制効果を発揮

スタンダードコース オルタナティブ投資あり・新興国投資あり

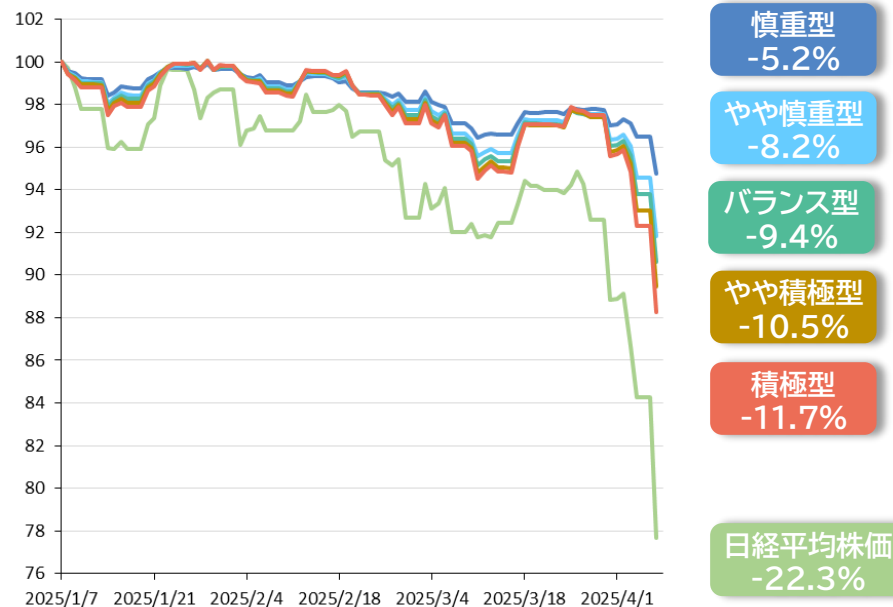
米国景気後退懸念・ 日銀追加利上げ

グラフ期間: 2024年7月11日～2024年8月5日
2024年7月11日=100



トランプ関税発動

グラフ期間: 2025年1月7日～2025年4月7日
2025年1月7日=100

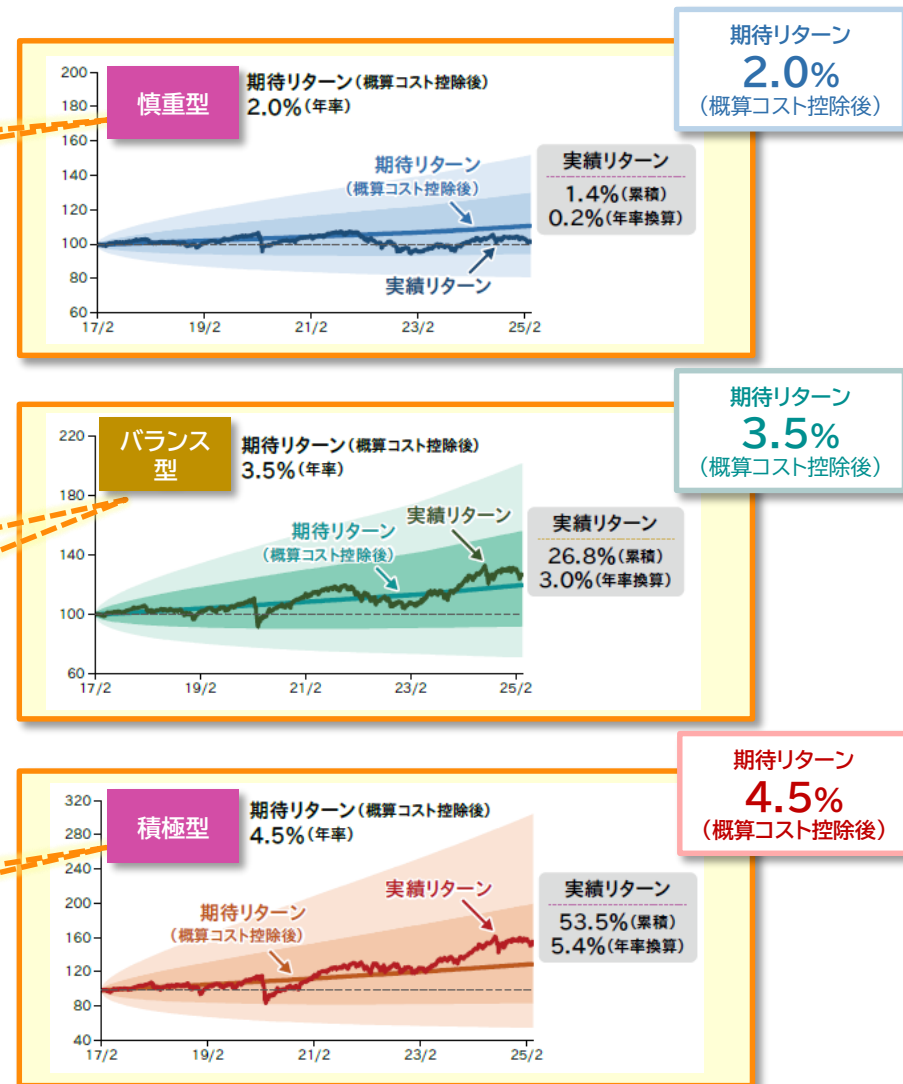
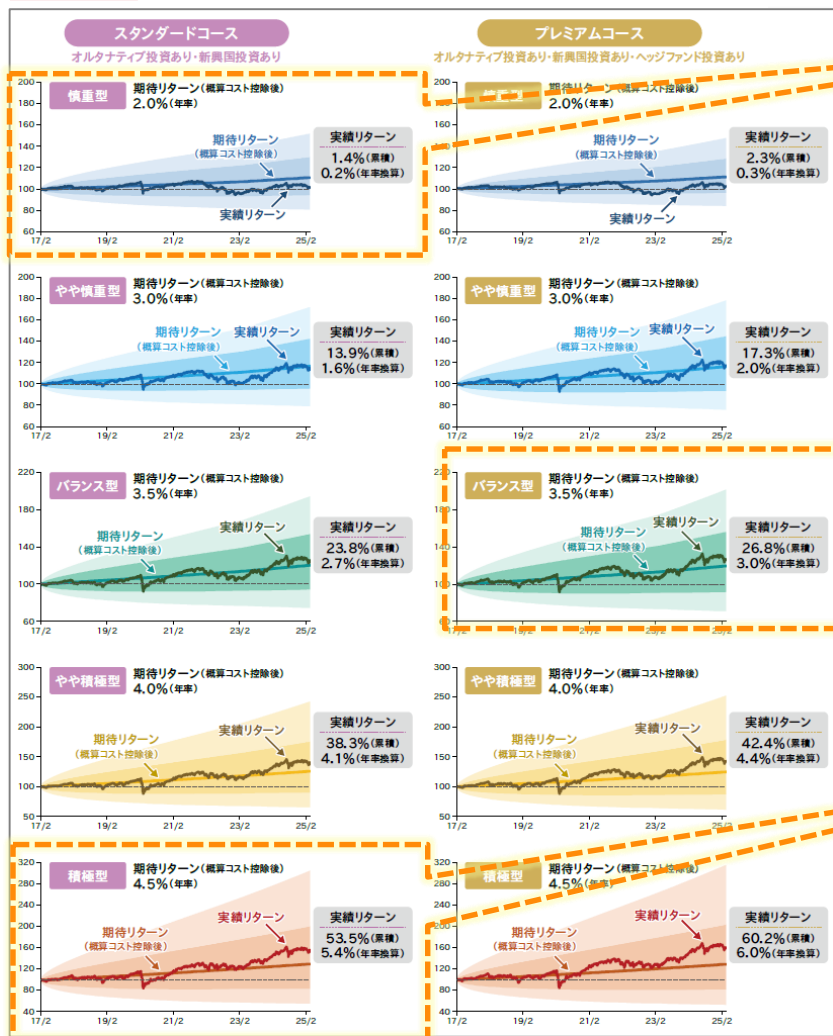


※実績リターンは、スタンダードコースの慎重型、やや慎重型、バランス型、やや積極型、積極型（運用オプション：オルタナティブ投資あり、新興国投資あり）の運用を、左のグラフは2024年7月11日、右のグラフは2025年1月7日に開始し、各時点のモデルポートフォリオの目標資産配分比率をそれぞれ用いて、毎月末日バランスをおこなったと仮定し投資顧問報酬率の概算値（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合。代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮していません。）および横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託の信託報酬を控除して計算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります。

【出所】りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

慎重型～積極型までの5つの運用スタイルで期待リターンと想定リスクを明示

01 横浜銀行ファンドラップの運用状況



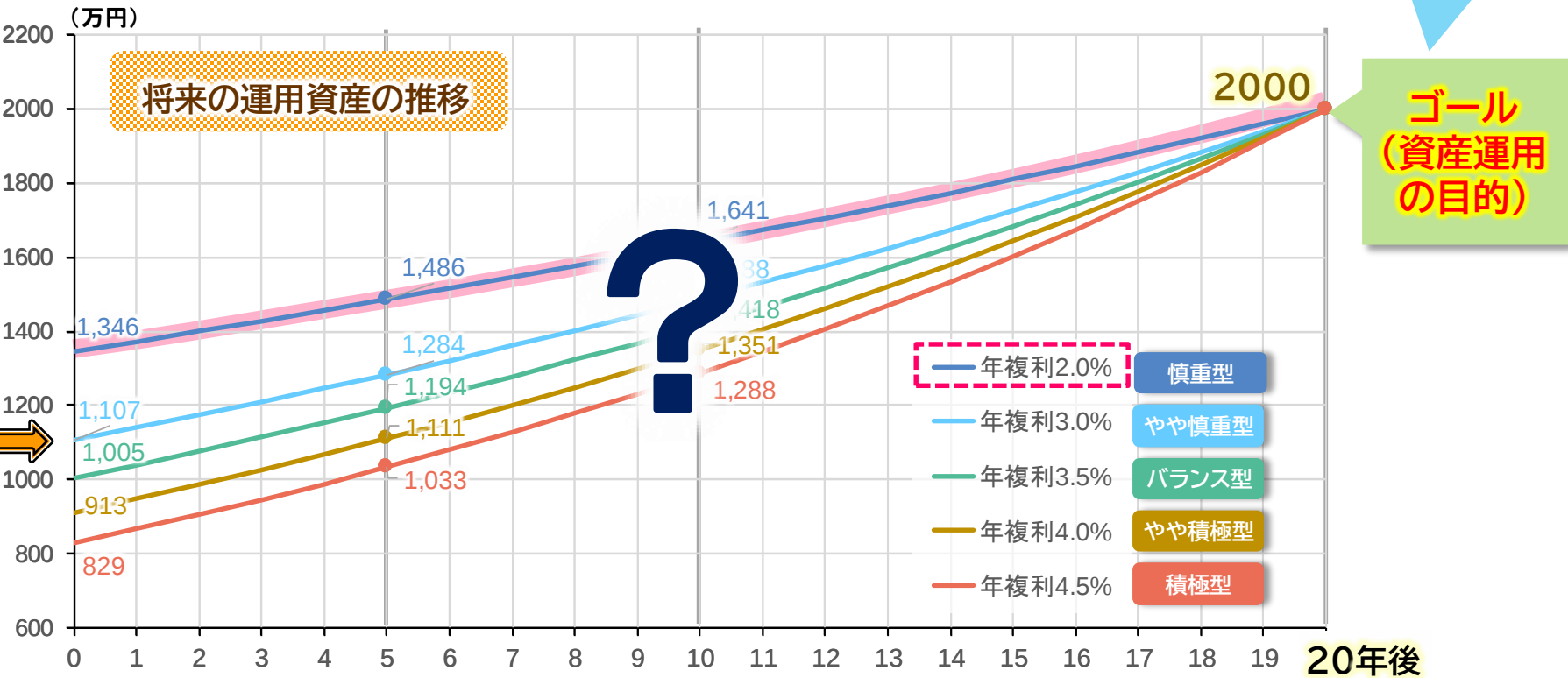
<マーケットクォーター 2025年春号より抜粋>

本資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※運用状況の算出については、24ページの注意事項をご確認ください。

巻末の「ご注意事項」を必ずご確認ください。

横浜銀行ファンドラップを活用したゴールベースアプローチ



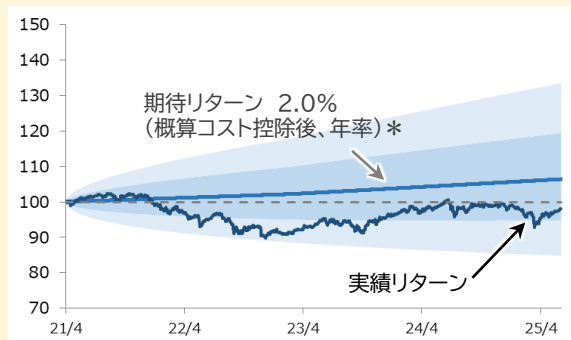
※ 上記は横浜銀行ファンドラップの各運用スタイルの期待リターン（概算コスト控除後）で運用したと仮定した場合の推移を示したものです。期待リターンや概算コストについては、24ページの注意事項をご確認ください。
本試算にあたって使用している投資顧問報酬等の費用は概算値であり、また、税金等を考慮しておりませんので、実際の資産の増減等を示すものではありません。

【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

スタンダードコース 期待リターンと運用実績（横浜銀行ファンドラップ設定来:2021年4月28日～2025年6月30日）

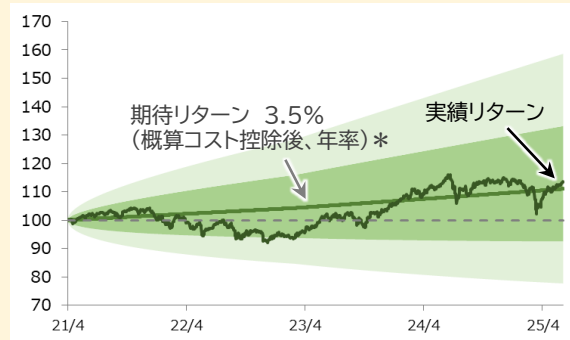
慎重型

実績リターン: **-1.8%**(累積)
-0.4%(年率換算)



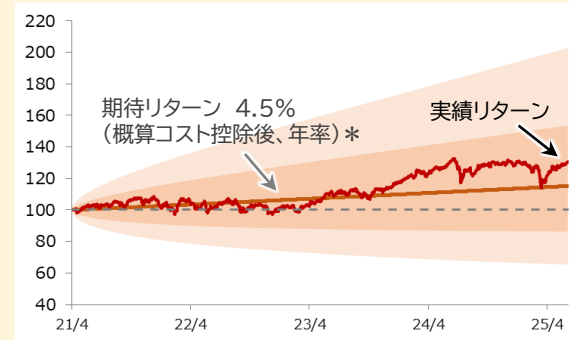
バランス型

実績リターン: **13.7%**(累積)
3.1%(年率換算)



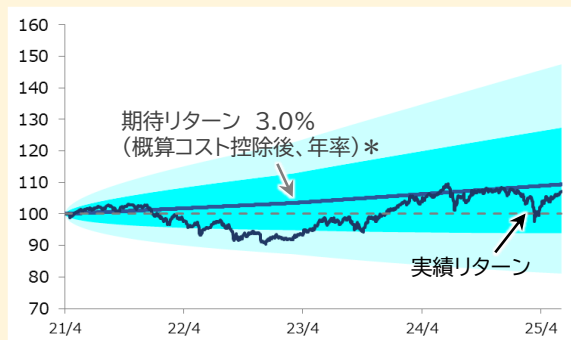
積極型

実績リターン: **30.7%**(累積)
6.6%(年率換算)



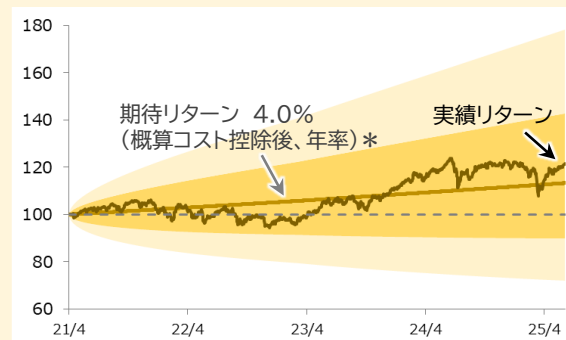
やや慎重型

実績リターン: **7.2%**(累積)
1.7%(年率換算)



やや積極型

実績リターン: **21.7%**(累積)
4.8%(年率換算)



*2023年4月1日以降の期待リターン
(概算コスト控除後)

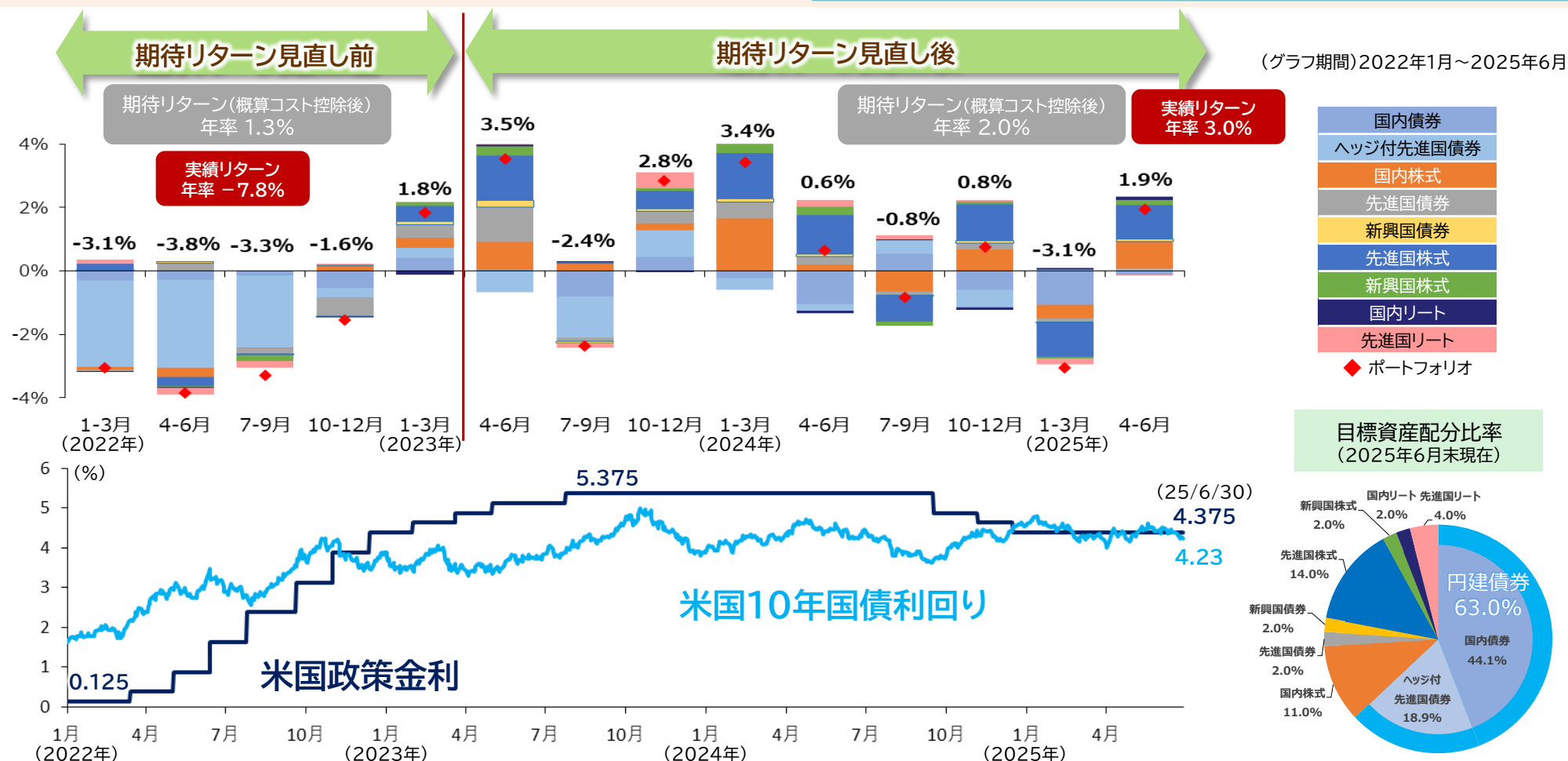
※上記は2021年4月28日を100として指数化しています。 ※シャドーは想定リスク（色の濃いシャドー：確率分布約68%、色の薄いシャドー：確率分布約95%）
 ※実績リターンは、スタンダードコースの慎重型、やや慎重型、バランス型、やや積極型、積極型（運用オプション：オルタナティブ投資あり、新興国投資あり）の運用を2021年4月28日に開始し、各時点のモデルポートフォリオの目標資産配分比率をそれぞれ用いて、毎月末日リバランスをおこなったと仮定し投資顧問報酬率の概算値（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合。代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮していません。）および横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託の信託報酬を控除して計算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります。
 ※横浜銀行ファンドラップでは、2023年4月に期待リターンの見直しを実施しました。グラフ中の期待リターン（概算コスト控除後）は、2023年3月末までは2023年3月末時点の期待リターン（概算コスト控除後）で運用した場合、2023年4月以降は2023年4月以降の期待リターン（概算コスト控除後）で運用した場合の推移を示しています。2023年3月末までの期待リターン（概算コスト控除後）は、2023年4月以降の期待リターン（概算コスト控除後）を算出する際と同じ料率の概算コストを減算して算出しています。概算コストについては、24ページの注意事項をご確認ください。
 ※期待リターンはブラックショールズモデルを用いて計算しています。このモデルにおいては中央値を用いて計算をおこないますが、中央値は期待リターンよりも低い値になる傾向があるため、これに基づき計算された期待リターンも低く算出されます。

【出所】 リソナアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、リソナ銀行作成

横浜銀行ファンドラップ 月次パフォーマンス

スタンダードコース・慎重型

オルタナティブ投資あり・新興国投資あり



※月次パフォーマンスの単純合計と年間パフォーマンスは、計算方法の違いにより一致しません。

※上記の横浜銀行ファンドラップの収益率の試算結果は、各時点のモデルポートフォリオの目標資産配分比率をそれぞれ用いて、毎月末リバランスをおこなったと仮定し計算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります。

※各資産クラスの収益率は、横浜銀行ファンドラップで組み入れている投資信託の基準価額（信託報酬等の費用を控除して算出される数値です。）を用いて算出しております。また、各ポートフォリオの数値（◆）は、投資顧問報酬の概算コストとして慎重型は年率0.957%、慎重型以外の運用スタイルでは年率1.32%（いずれも固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合と仮定して一律に試算しています。）を控除して計算しております（代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮していません）。

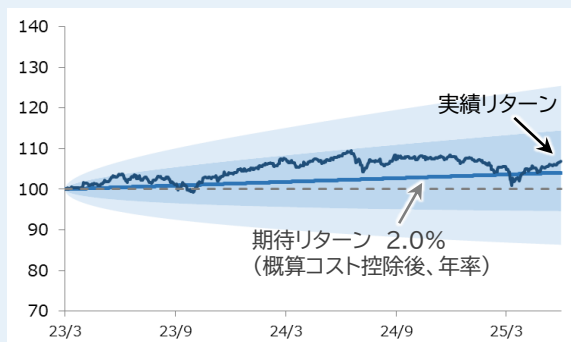
※本試算は、取引タイミング等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

【出所】 リそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

スタンダードコース 期待リターンと運用実績（期待リターン見直し後：2023年3月31日～2025年6月30日）

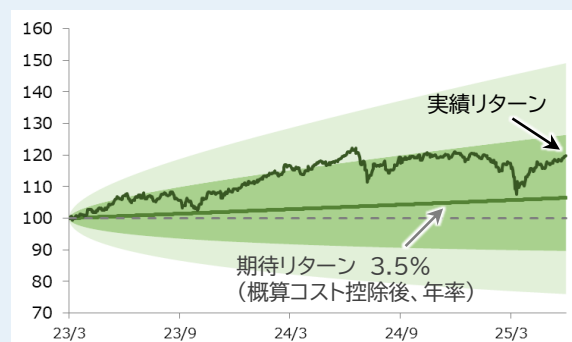
慎重型

実績リターン:6.8%(累積)
3.0%(年率換算)



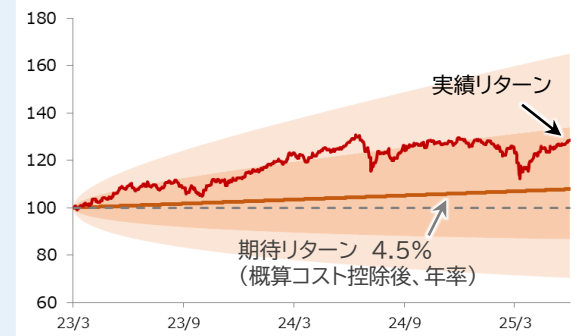
バランス型

実績リターン:19.8%(累積)
8.4%(年率換算)



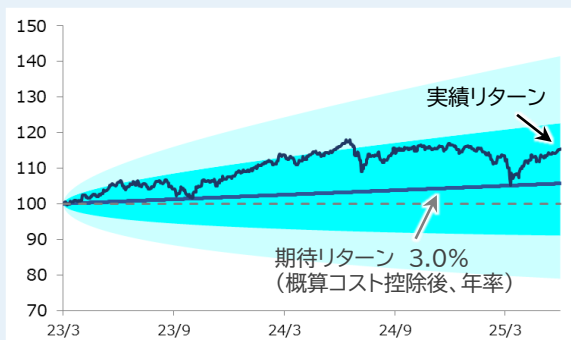
積極型

実績リターン:28.6%(累積)
11.8%(年率換算)



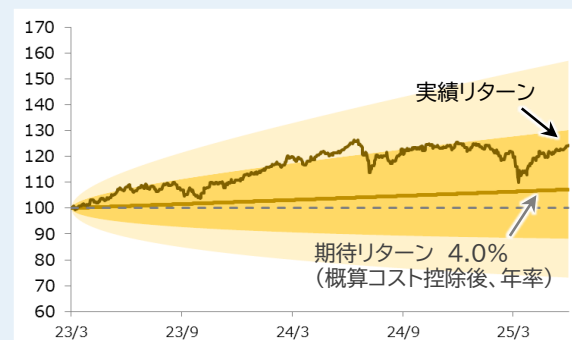
やや慎重型

実績リターン:15.5%(累積)
6.6%(年率換算)



やや積極型

実績リターン:24.3%(累積)
10.1%(年率換算)



2023年4月1日に、慎重型・やや慎重型・バランス型・やや積極型の期待リターン・想定リスクの水準を見直ししました。

債券資産の配分比率が減少し、
株式・リート¹の配分比率が増加しました。

※上記は2023年3月31日を100として指数化しています。 ※シャドーは想定リスク（色の濃いシャドー：確率分布約68%、色の薄いシャドー：確率分布約95%）

※実績リターンは、スタンダードコースの慎重型、やや慎重型、バランス型、やや積極型、積極型（運用オプション：オルタナティブ投資あり、新興国投資あり）の運用を2023年3月31日に開始し、各時点のモデルポートフォリオの目標資産配分比率をそれぞれ用いて、毎月末日バランスをおこなったと仮定し投資顧問報酬率の概算値（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合。代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮していません。）および横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託の信託報酬を控除して計算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります。概算コストについては、24ページの注意事項をご確認ください。

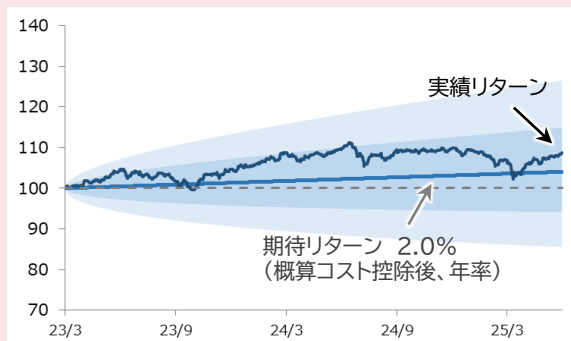
※期待リターンはブラックショールズモデルを用いて計算しています。このモデルにおいては中央値を用いて計算を行いますが、中央値は期待リターンよりも低い値になる傾向があるため、これに基づき計算された期待リターンも低く算出されます。

【出所】 リそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、リそな銀行作成

プレミアムコース 期待リターンと運用実績（期待リターン見直し後：2023年3月31日～2025年6月30日）

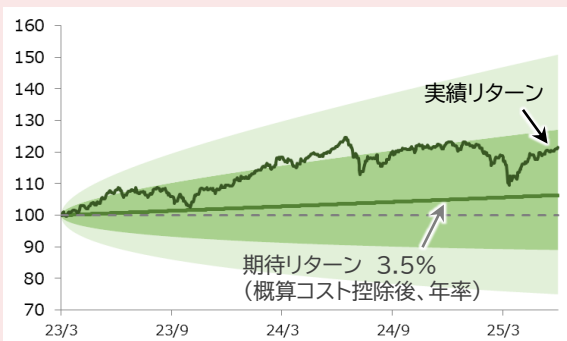
慎重型

実績リターン:8.7%(累積)
3.8%(年率換算)



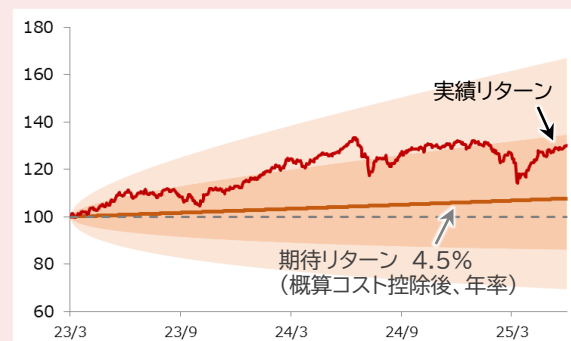
バランス型

実績リターン:21.5%(累積)
9.0%(年率換算)



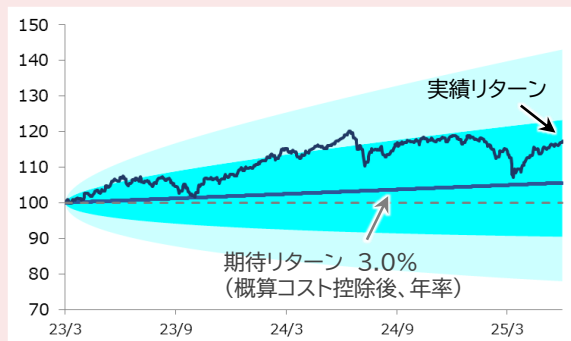
積極型

実績リターン:30.3%(累積)
12.5%(年率換算)



やや慎重型

実績リターン:17.3%(累積)
7.3%(年率換算)



やや積極型

実績リターン:25.9%(累積)
10.8%(年率換算)



2023年4月1日に、慎重型・やや慎重型・バランス型・やや積極型の期待リターン・想定リスクの水準を見直しました。

債券資産の配分比率が減少し、
株式・リート¹の配分比率が増加しました。

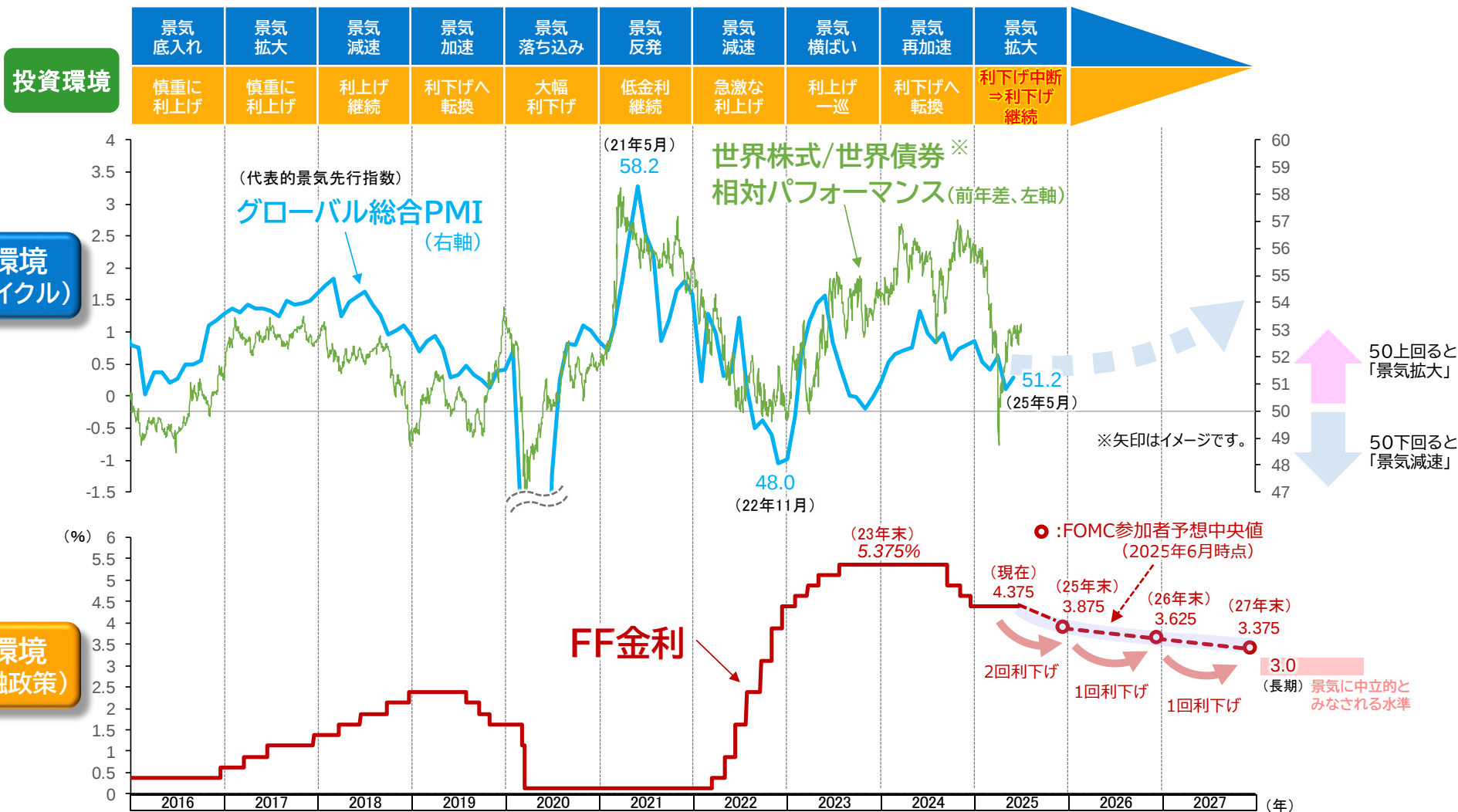
※上記は2023年3月31日を100として指数化しています。 ※シャドーは想定リスク（色の濃いシャドー：確率分布約68%、色の薄いシャドー：確率分布約95%）

※実績リターンは、プレミアムコースの慎重型、やや慎重型、バランス型、やや積極型、積極型（運用オプション：オルタナティブ投資あり、新興国投資あり）の運用を2023年3月31日に開始し、各時点のモデルポートフォリオの目標資産配分比率をそれぞれ用いて、毎月末日バランスをおこなったと仮定し投資顧問報酬率の概算値（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合。代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮していません。）および横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託の信託報酬を控除して計算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります。概算コストについては、24ページの注意事項をご確認ください。

※期待リターンはブラックショールズモデルを用いて計算しています。このモデルにおいては中央値を用いて計算を行いますが、中央値は期待リターンよりも低い値になる傾向があるため、これに基づき計算された期待リターンも低く算出されます。

【出所】 リそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、リそな銀行作成

2025年は「経済環境」=緩やかな景気拡大 「金融環境」=主要国の利下げ継続



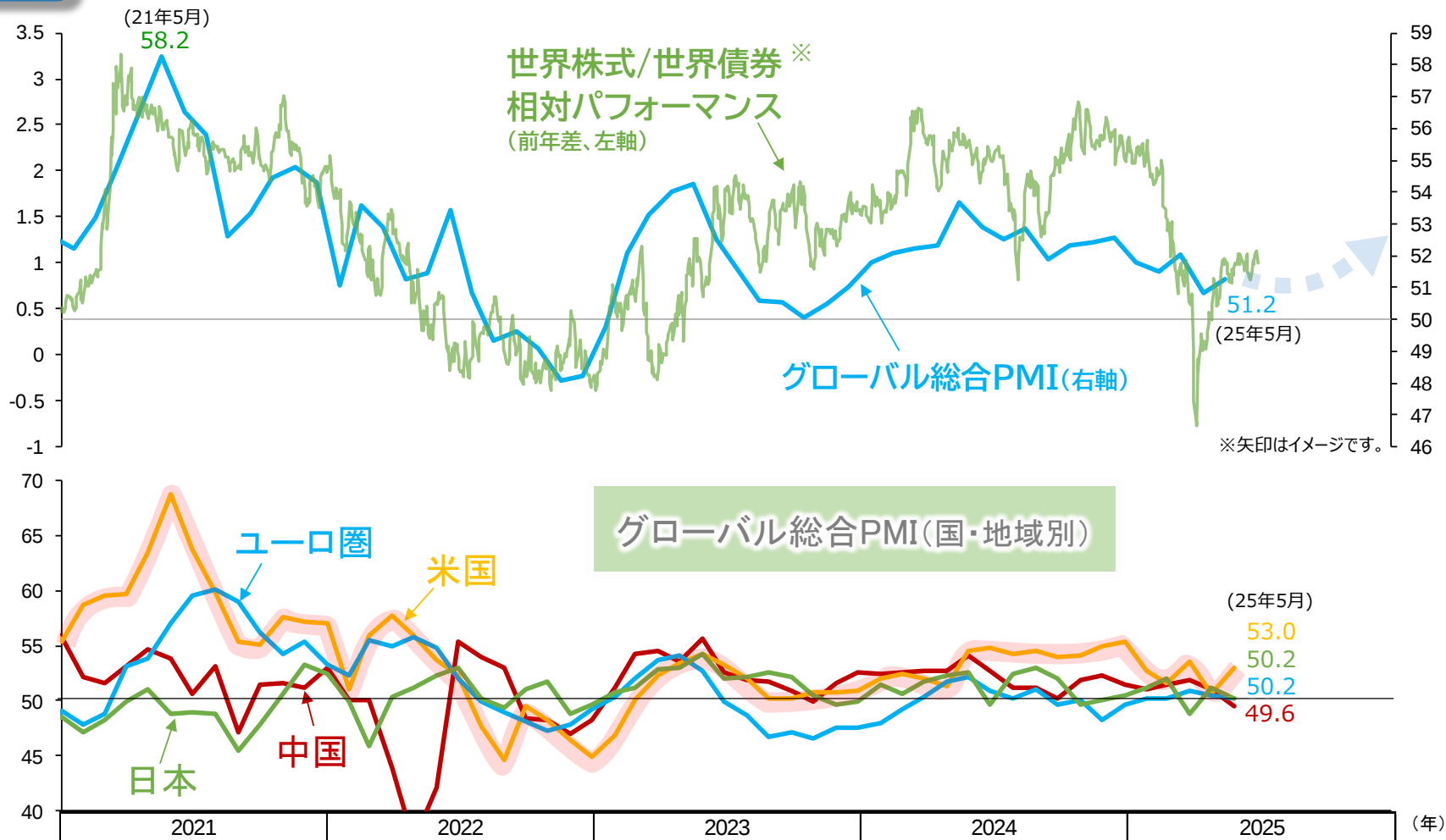
※世界株式: MSCI-World 指数 (現地通貨建て、配当込み)、世界債券: FTSE世界国債インデックス (現地通貨建て)

(グラフ期間) 世界株式/世界債券相対パフォーマンス・FF金利: 2016年1月1日～2025年7月1日、グローバル総合PMI: 2016年1月～2025年5月

【出所】リそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

経済環境
(景気サイクル)

代表的景気先行指標のグローバル総合PMIは米国を牽引役に底堅く推移する見通し



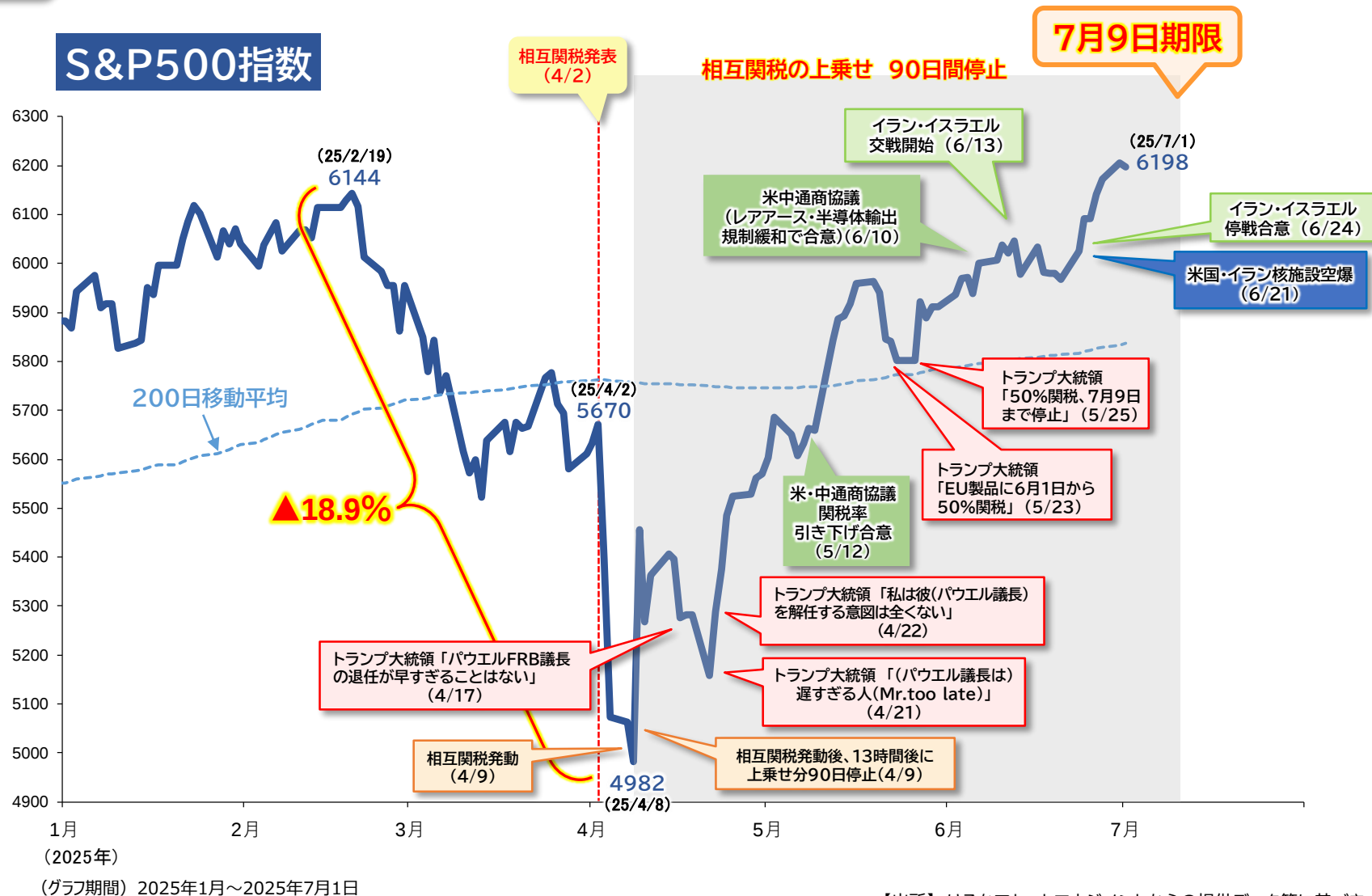
※世界株式：MSCI-World 指数（現地通貨建て、配当込み）、世界債券：FTSE世界国債インデックス（現地通貨建て）

（グラフ期間）世界株式/世界債券相対パフォーマンス：2021年1月1日～2025年7月1日、グローバル総合PMI：2021年1月～2025年5月

【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

経済環境
(景気サイクル)

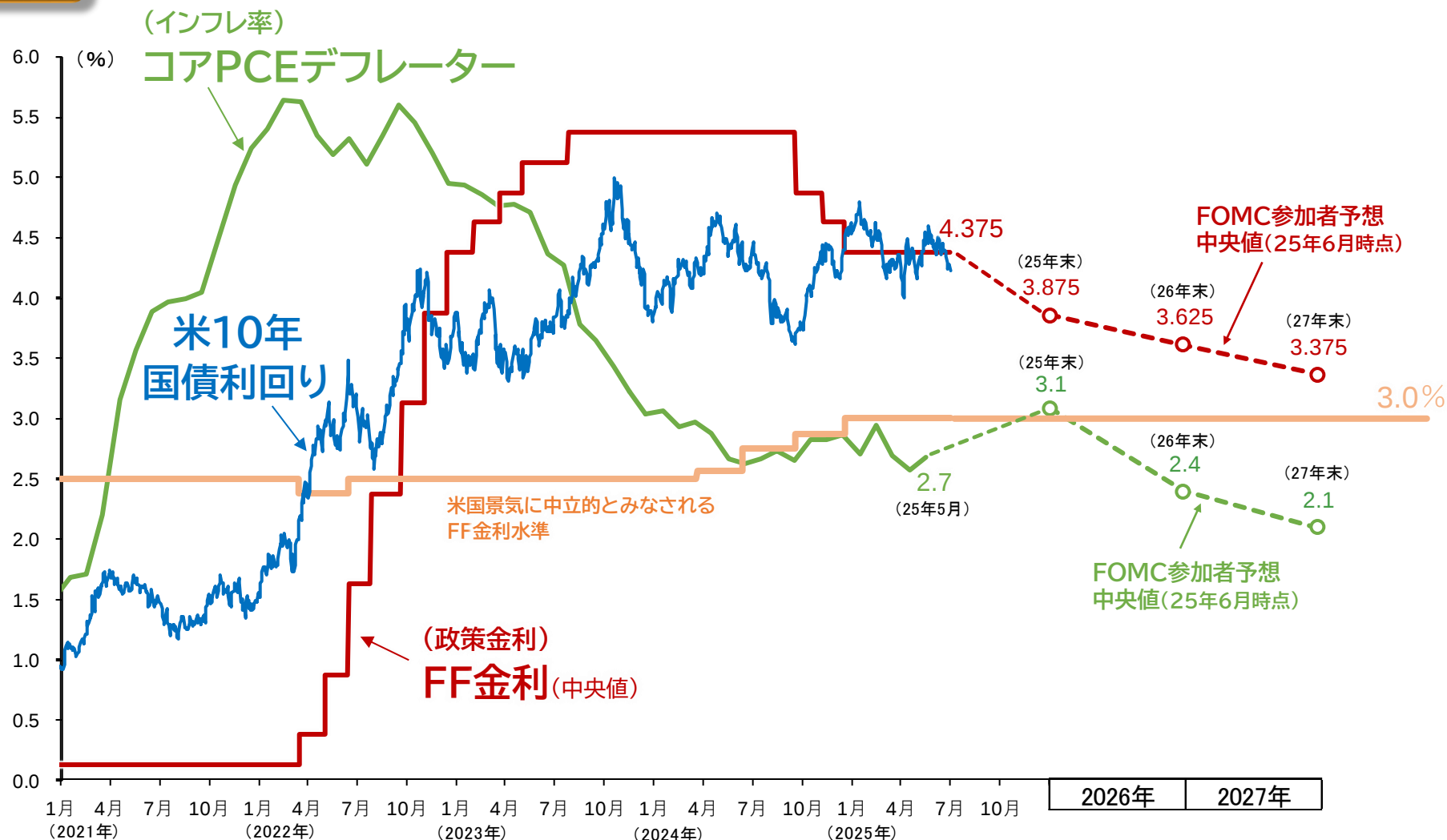
トランプ米政権はマーケット・景気への影響に注意を払い関税策を進める姿勢



【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

金融環境 (米・金融政策)

米FRB(連邦準備制度理事会):インフレの落ち着きを見極め段階的に利下げ継続へ

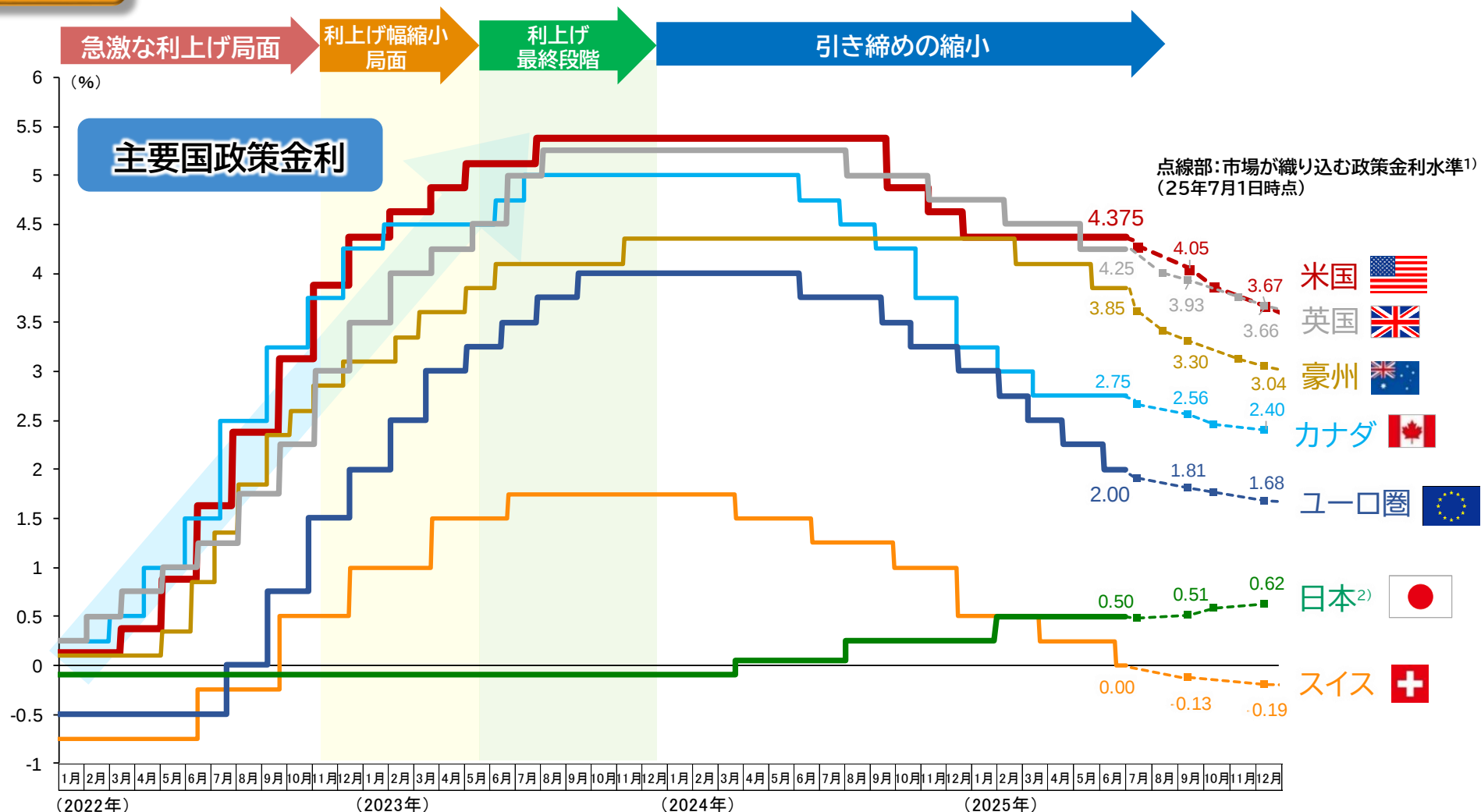


(グラフ期間) 米10年国債利回り、FF金利：2021年1月1日～2025年7月1日、コアPCEデフレーター：2021年1月～2025年5月

【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

金融環境
(米・金融政策)

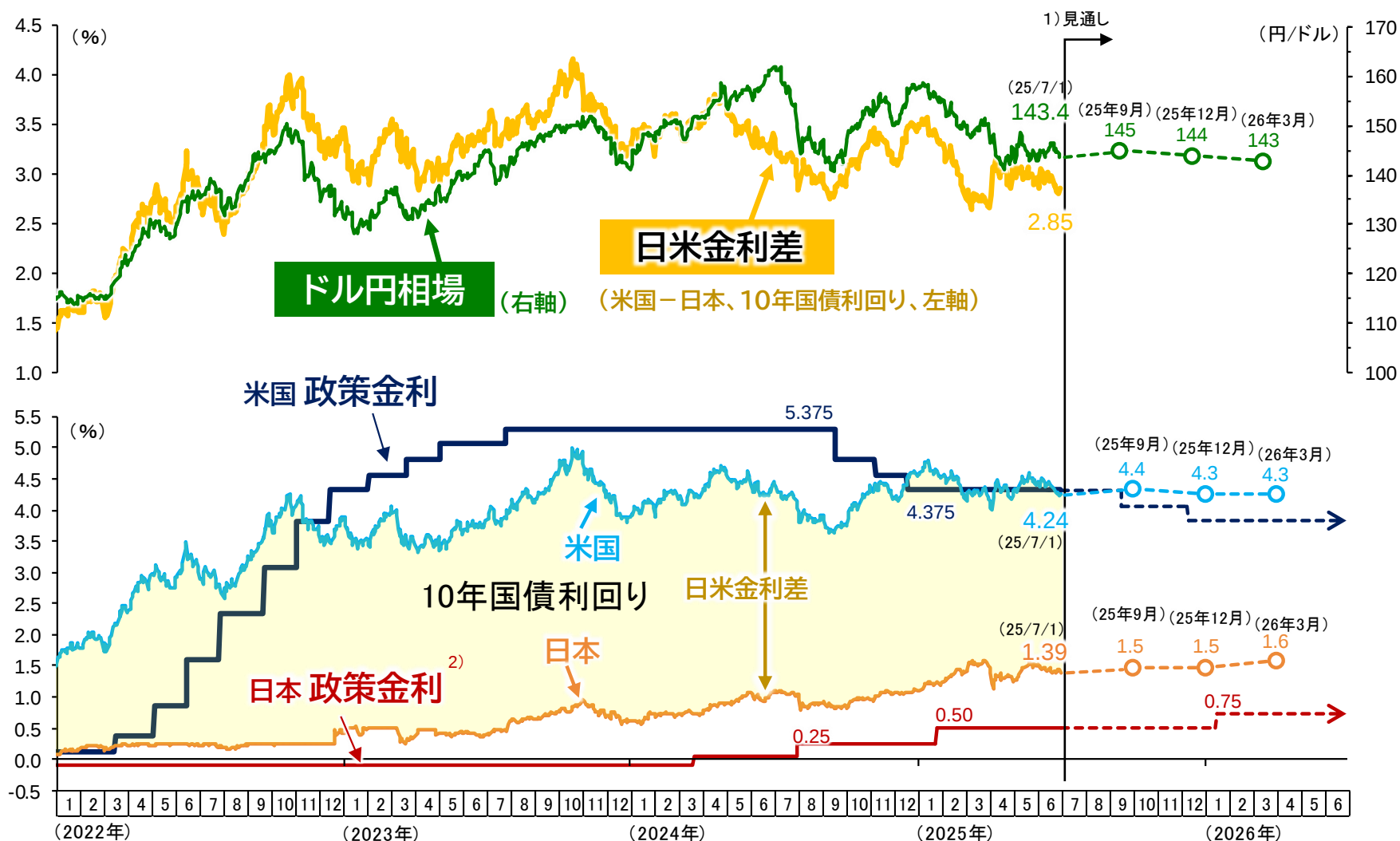
主要先進国(日本除く)は利下げ継続の見通し



【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

2025年後半以降の投資環境見通し

日米金利差の縮小は小幅にとどまり、ドル円は底堅く推移



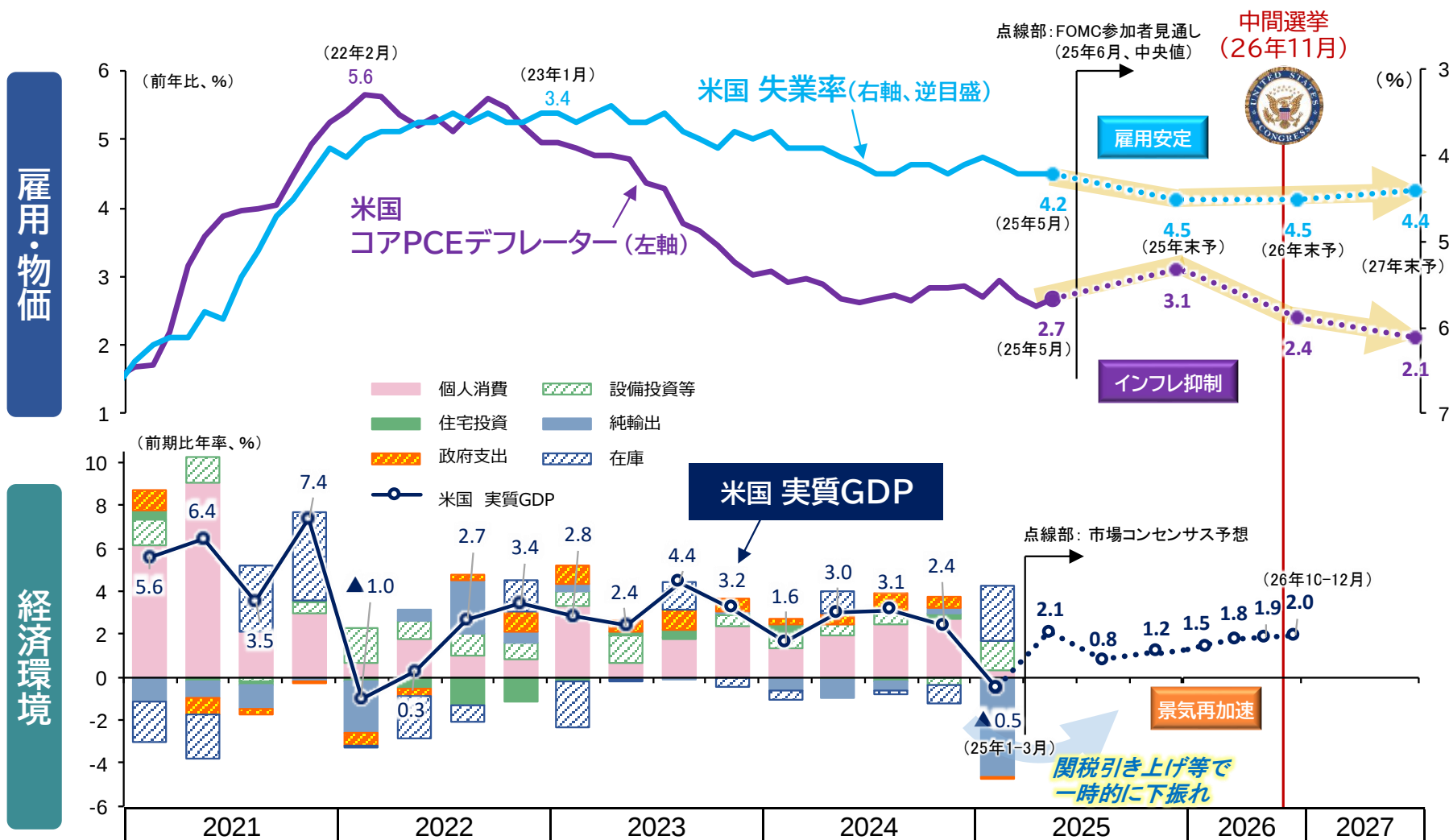
1) 点線部分は2024年12月19日時点のりそなアセットマネジメント見通し
(グラフ期間) 2022年1月1日～2025年7月1日

2) 日本の政策金利：2022年1月1日～2024年3月19日までは日銀当座預金金利、それ以外の期間は無担保コール翌日物金利

【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

2025年後半以降の投資環境見通し

2025年前半は関税策で景気減速→2025年後半から減税策などで景気再加速を目指す

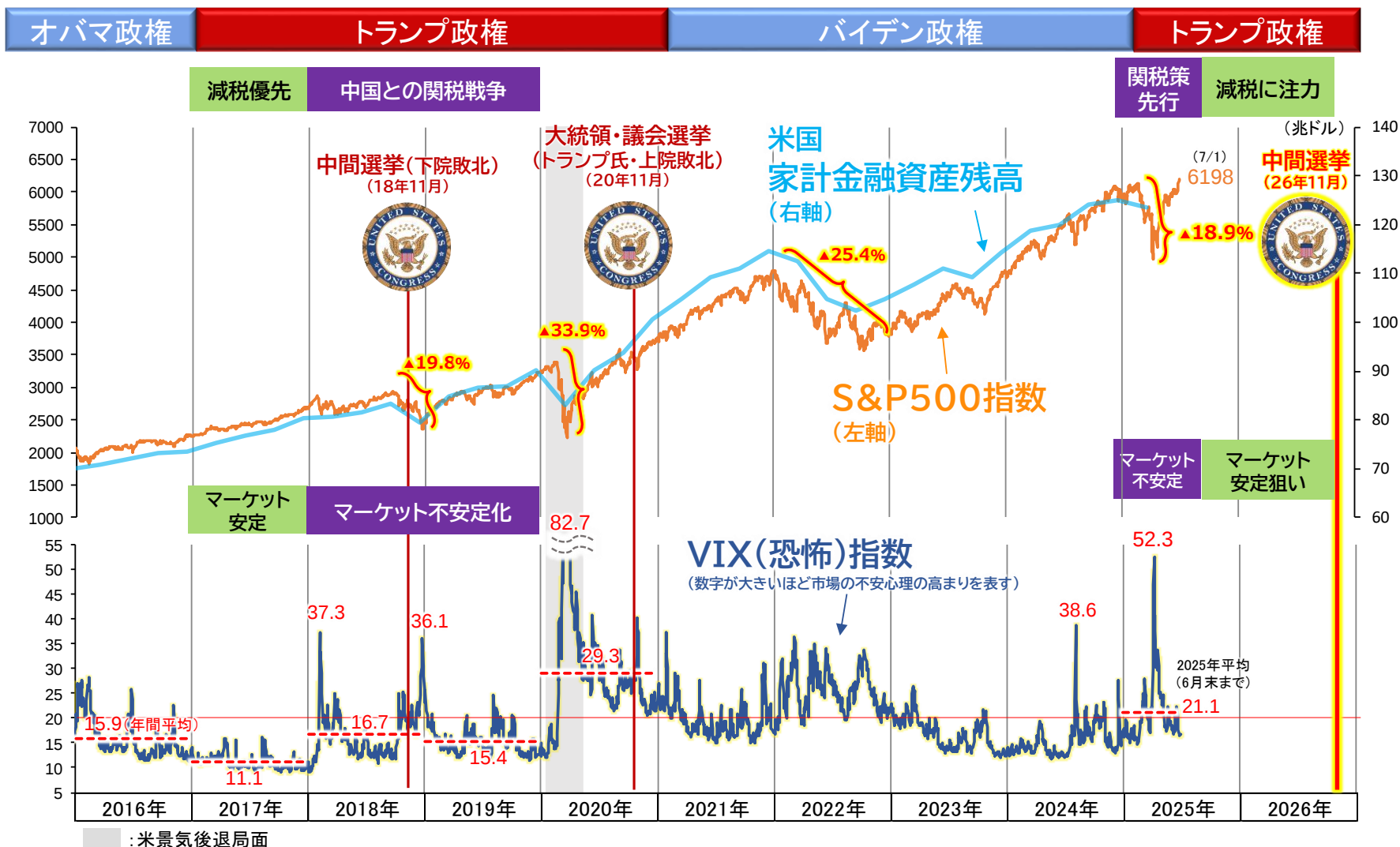


(グラフ期間) 上段: 2021年1月～2025年5月、下段: 2021年1-3月期～2025年1-3月期

【出所】 りそなアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、りそな銀行作成

2025年後半以降の投資環境見通し

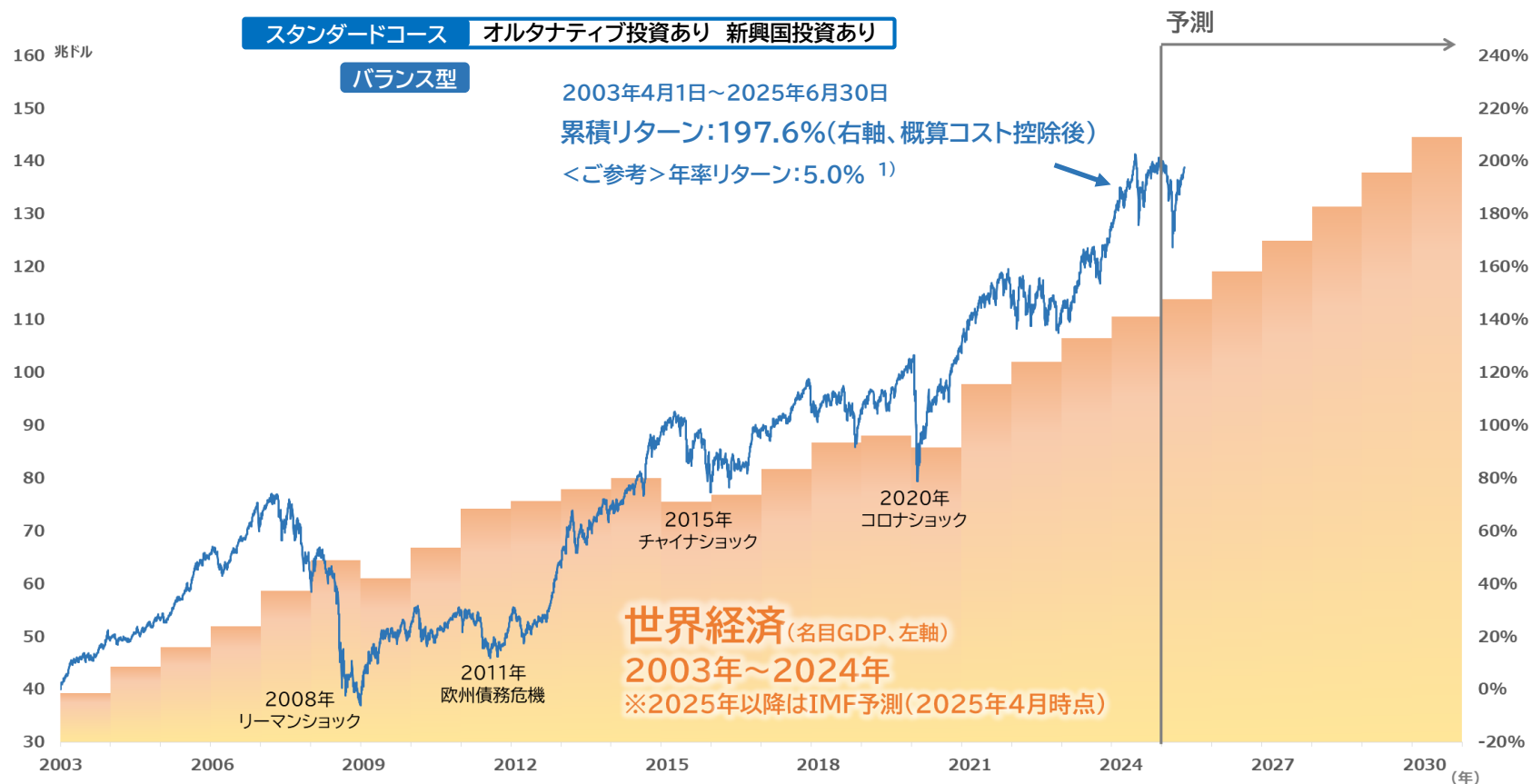
トランプ政権は来秋の中間選挙を良い経済状態で迎えることを目指し政策を推進



(グラフ期間) S&P500指数、VIX指数：2016年1月1日～2025年7月1日、米国家計金融資産残高：2016年1-3月期～2025年1-3月期

【出所】 リソナアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、リソナ銀行作成

国際分散投資を長期で継続することでプラスのリターンが期待できる



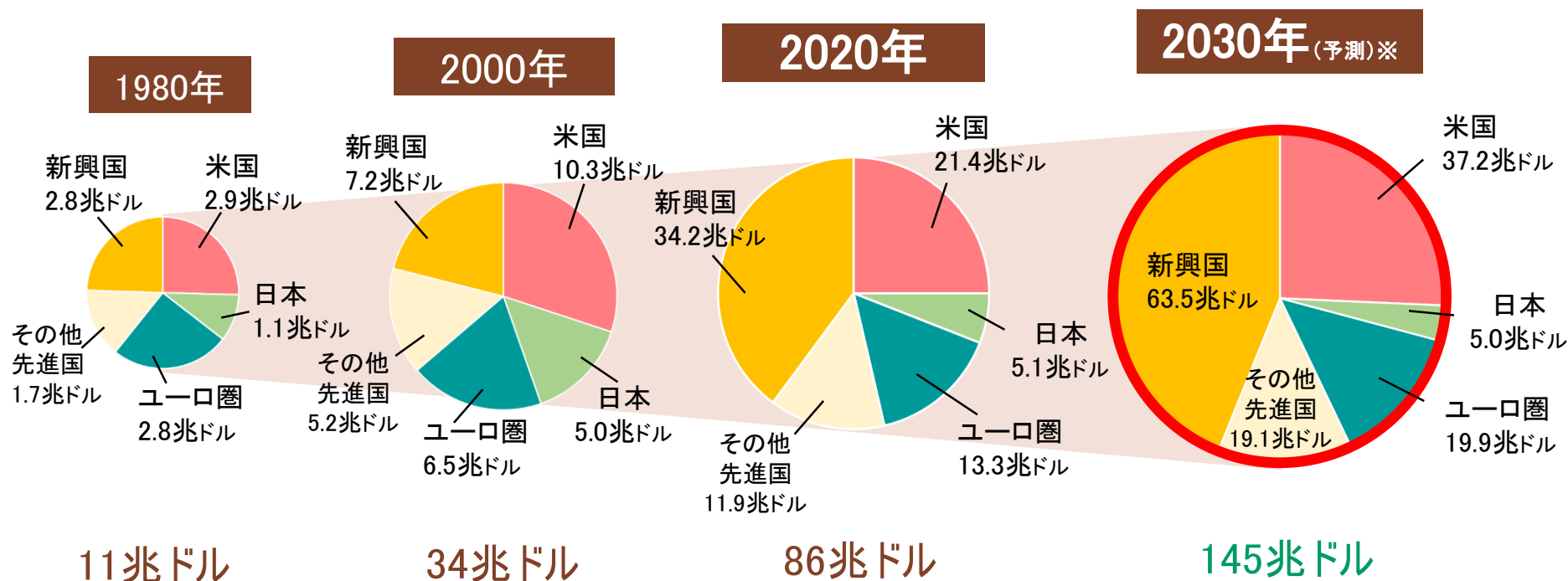
1) 累積リターンはシミュレーション期間中の収益率（概算コスト控除後）。年率リターンは累積リターンを年率換算（複利計算）。

※上記は、2025年6月末時点の目標資産配分比率を用いて、毎月末リバランスをおこなったと仮定し概算コストを控除して試算したものであり、お客さまの実際の運用結果とは異なります（2017年1月以前はインデックスの値を用いて算出）。
 ※概算コストについては、24ページの注意事項をご確認ください。
 ※本試算では、税金・取引タイミング等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

【出所】リそなアセットマネジメントからの提供データおよびIMFの公表データ等に基づき、リそな銀行作成

国際分散投資を長期で継続することでプラスのリターンが期待できる

世界の経済規模(GDP)の推移



※2030年はIMF（国際通貨基金）による2025年4月時点の予測値

【出所】 リソナアセットマネジメントからの提供データ等に基づき、リソナ銀行作成

横浜銀行ファンドラップの主な資産管理機能

横浜銀行ファンドラップは
お客さまのご資産を

ふやす

目的だけのご投資
にとどまらず

お客さまの資産運用や資産管理のために

つかう

まもる

つなぐ

ニーズにお応えする運用商品です

定期受取サービス

年4回(1,4,7,10月)、
ファンドラップの運用資産
から一定額を換金し、
お客さまの指定口座に
入金します。

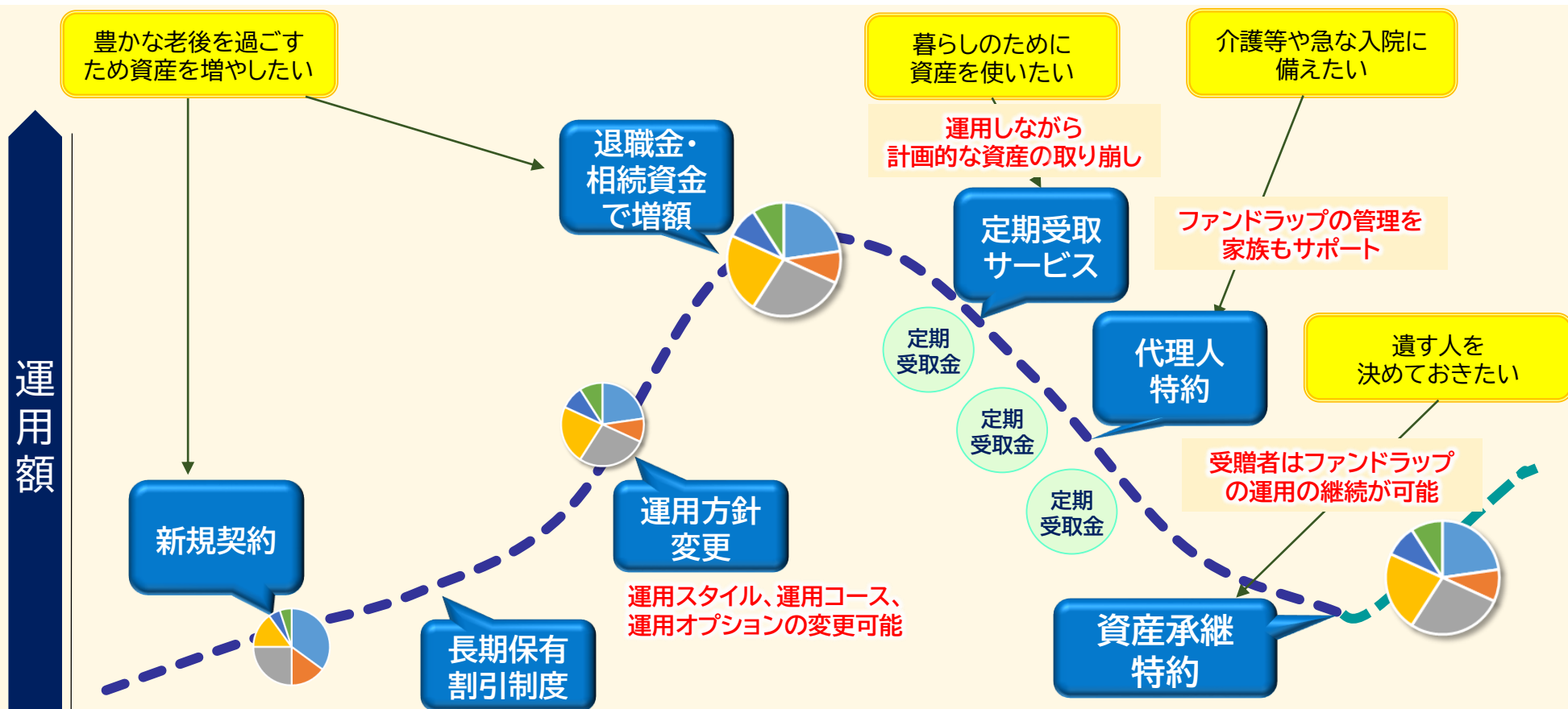
代理人特約※

急な病気や介護に備え、
ファンドラップの一部解約等
をおまかせする代理人を
設定いただけます。

資産承継特約

ご契約者さまが死亡後、
あらかじめ指定した受贈者
にファンドラップの運用資産
を承継(運用を継続もしくは
換金資金のお受取り)する
ことができます。

お客さまの一生、そして次世代にわたる資産形成をサポートすることができるサービス



ご契約者さま

資産運用

+

資産管理機能の活用

➡

資産運用

ふやす

つかう・まもる

つなぐ



受贈者さま

ふやす

【ご注意事項】

【横浜銀行ファンドラップ、代理人特約および資産承継特約に関するご注意事項】

- 横浜銀行ファンドラップ投資一任契約（以下、「横浜銀行ファンドラップ」）では、りそな銀行がお客さまと締結する投資一任契約に基づき、横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託（以下、「組入投信」）で運用をおこない、その運用成果は全てお客さまに帰属し、投資元本は保証されません。また、横浜銀行ファンドラップは預金とは異なり、預金保険制度の対象ではなく、投資者保護基金の対象でもありません。
- 組入投信では、値動きのある国内外の有価証券等に投資しますので、株価、金利、通貨の価格等の指標の変動や発行体の信用状況等の変化を原因として損失が生じ、元本を割込むおそれがあります。
- 横浜銀行ファンドラップ代理人特約（以下、「代理人特約」）および横浜銀行ファンドラップ資産承継特約（以下、「資産承継特約」）は、横浜銀行ファンドラップに付加する特約であり、ご利用にあたっては、あらかじめ横浜銀行ファンドラップ投資一任契約の締結が必要です。
- 横浜銀行ファンドラップでは、投資顧問報酬（「固定報酬型」の場合において、運用資産の時価評価額に上限年率1.320%（税込み）を乗じた額、「成功報酬併用型」の場合において、固定報酬と運用成果の額に11.0%（税込み）を乗じた額）を直接ご負担いただきます。また、組入投信およびその投資対象となる他の投資信託の信託報酬が投資信託の信託財産から差し引かれます。信託報酬は、信託財産の純資産総額に対して信託報酬率（年率）を乗じて計算されますが、2025年6月30日現在、この信託報酬率は、概算で、スタンダードコース（組入投信）において年率0.220%～0.495%（税込み）、プレミアムコース（組入投信およびその投資対象となる他の投資信託の合計）において年率0.330%～1.4575%（税込み）の範囲です。組入投信の投資対象となる他の投資信託の一部には、これとは別に、運用実績に応じた成功報酬が発生する場合があります。その他、組入投信およびその投資対象となる他の投資信託の監査報酬等の費用が発生しますが、これらは運用状況等により変動するため事前に料率等を表示できません。詳しくは各組入投信の最新の交付目論見書および目論見書補完書面をご確認ください。
- 代理人特約を付加された場合、横浜銀行ファンドラップに係る上記の費用に加え、投資顧問報酬として代理人特約報酬（運用資産の時価評価額に年率0.22%（税込み）を乗じた額）をご負担いただきます。
- 上記の投資顧問報酬（代理人特約報酬を含む。）、信託報酬およびその他の費用についての合計額および上限額は、資産配分比率、運用資産の時価評価額、投資信託の保有期間や代理人特約が存続する期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。
- 横浜銀行は、りそな銀行の代理店として投資一任契約、代理人特約および資産承継特約を締結します。
- 横浜銀行ファンドラップのご契約の際には最新の契約締結前交付書面、代理人特約のご契約の際には最新の契約変更書面（代理人特約 契約締結前交付書面）、資産承継特約のご契約の際には最新の契約変更書面（資産承継特約 契約締結前交付書面）の内容を必ず事前にご確認ください。

【ご注意事項】

【本資料に関するご注意事項】

- 本資料はりそな銀行が横浜銀行ファンドラップの説明を目的に作成したものです。
- 本資料の作成にあたり、りそな銀行は情報の正確性等については細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の記述内容、数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更することがあります。また、今後の金融情勢や市況の変動等により、方針通りの運用がおこなわれない場合もあります。
- 期待リターンとは、資産や証券に投資することで将来期待できる収益率のことで、一般的には年率ベースで表されます。期待リターンは、お客さまが必ず得られる収益率を意味するものではなく、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。期待リターン（概算コスト控除後）とは、期待リターンから概算コストを差し引いたものです。
- 横浜銀行ファンドラップでは、2023年4月に期待リターンの水準を見直しました。2023年3月末までの期待リターン（概算コスト控除後）は、2023年3月末時点の期待リターンから2023年4月以降の期待リターン（概算コスト控除後）を算出する際と同じ料率の概算コストを減算し計算し、2023年4月以降の期待リターン（概算コスト控除後）は、2023年4月時点の期待リターン（概算コスト控除後）を用いて計算しています。期待リターンはブラックショールズモデルを用いて計算しています。このモデルにおいては中央値を用いて計算をおこないますが、中央値は期待リターンよりも低い値になる傾向があるため、これに基づき計算された期待リターンも低く算出されます。
- 期待リターン（概算コスト控除後）の算出において使用している概算コストは、りそな銀行が、スタンダードコース、プレミアムコースの各運用スタイル（運用オプション：新興国投資あり、オルタナティブ投資あり、プレミアムコースは加えてヘッジファンド投資あり）の投資顧問報酬率（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合と仮定して一律に試算しています。）および横浜銀行ファンドラップが投資対象とする投資信託（以下、「組入投信」）の信託報酬率の合計として、予め試算した料率です。なお、プレミアムコースの期待リターン（概算コスト控除後）は、市場指数を上回る運用成果と組入投信の投資対象となる他の投資信託の信託報酬を同水準とみなし、概算コストの試算において組入投信の投資対象となる他の投資信託の信託報酬を考慮しておりません。概算コストの試算において、代理人特約報酬および長期保有割引制度は考慮しておりません。概算コストはあくまでも試算であり、実際の横浜銀行ファンドラップにおける費用の合計額および上限額は、運用資産の時価評価額や資産配分比率等に応じて異なります。
- 本資料中における運用実績、実績リターン等（以下、「運用実績」）に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。なお、運用実績は、組入投信の基準価額（信託報酬等の費用を控除して算出される数値です。）を用いて、投資顧問報酬の概算値（固定報酬型、計算基準額2,000万円以下の場合と仮定して算出しています。代理人特約報酬、長期保有割引制度は考慮しておりません。）を控除して算出しております。組入投信の資産配分比率については、リアロケーションをおこなった場合にはその翌日よりリアロケーション後の資産配分比率にて運用したと仮定し、かつ、毎月末リバランスを実施したと仮定しています。運用実績を算出する際に控除しているのは投資顧問報酬の概算値であり、また、税金等は考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 本資料に関わる一切の権利は、他社資料等の引用部分を除きりそな銀行に属し、いかなる目的であれ、本資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。
- 取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料に関するお問い合わせは、お取引店担当者までお願いいたします。

【本資料で使用しているインデックス】

国内債券：NOMURA-BPI総合

ヘッジ付先進国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）

国内株式：東証株価指数（TOPIX、配当込み）

先進国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債券：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

先進国株式：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円換算ベース）

新興国株式：MSCIエマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）

国内リート：東証REIT指数（配当込み）

先進国リート：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）

【ご注意事項】

【組入れ投資信託】

■スタンダードコース■

円建債券：FWリソな国内債券インデックスファンド、FWリソな先進国債券インデックスファンド（為替ヘッジあり）

国内株式：FWリソな国内株式インデックスファンド

先進国債券：FWリソな先進国債券インデックスファンド（為替ヘッジなし）

新興国債券：FWリソな新興国債券インデックスファンド（※1）

先進国株式：FWリソな先進国株式インデックスファンド

新興国株式：FWリソな新興国株式インデックスファンド（※1）

国内リート：FWリソな国内リートインデックスファンド（※2）

先進国リート：FWリソな先進国リートインデックスファンド（※2）

（※1）印のついた投資信託は、運用オプション「新興国投資あり」をご選択時のみ組入れます。

（※2）印のついた投資信託は、運用オプション「オルタナティブ投資あり」をご選択時のみ組入れます。

■プレミアムコース■

円建債券：FWリソな円建債券アクティブファンド

国内株式：FWリソな国内株式アクティブファンド

先進国債券：FWリソな先進国債券アクティブファンド（※3）

海外債券：FWリソな先進国＋新興国債券アクティブファンド（※4）

先進国株式：FWリソな先進国株式アクティブファンド（※3）

海外株式：FWリソな先進国＋新興国株式アクティブファンド（※4）

ヘッジファンド：FWリソな絶対収益アクティブファンド（※5）

国内リート：FWリソな国内リートインデックスオープン（※6）

先進国リート：FWリソな先進国リートインデックスオープン（※6）

（※3）印のついた投資信託は、運用オプション「新興国投資あり」をご選択時には、組入れません。

（※4）印のついた投資信託は、運用オプション「新興国投資あり」をご選択時のみ組入れます。

（※5）印のついた投資信託は、運用オプション「ヘッジファンド投資あり」をご選択時のみ組入れます。

（※6）印のついた投資信託は、運用オプション「オルタナティブ投資あり」をご選択時のみ組入れます。

投資一任契約代理店

■商号等 株式会社横浜銀行（登録金融機関 関東財務局長（登金）第36号）

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

投資一任契約の契約当事者

■商号等 株式会社りそな銀行（登録金融機関 近畿財務局長（登金）第3号）

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

運用報告会に参加いただき、
ありがとうございました。
アンケートへのご協力をお願いいたします。

▼アンケートはこちら（横浜銀行のウェブサイトへ遷移します）



<https://info.boy.co.jp/n/form/calb/A-WzpVks8uQcEsCpXPwEz>